

栃木市観光交流館について

1 背景

本市の玄関口となる栃木駅周辺地区は、駅前という特性を生かし、本市の魅力と賑わいを創出することが求められていることから、栃木市都市計画マスタープランにおいて、賑わい・活性化、交流の拠点としての地域づくりを推進することとされている。

その目的達成のため、平成30年に栃木駅前市有地土地利用事業として、本市の魅力と賑わいを創出するために必要な機能の提案や施設の建設・運営等を行う民間事業者を選定し、現在、ホテル・店舗棟、マンション棟、市が活用するシビックセンター棟の整備が進められている。

2 設置目的

シビックセンター棟については、観光を中心とした本市の総合プロモーション拠点施設となる栃木市観光交流館として活用し、知名度の向上及びイメージアップ、おもてなしの強化、魅力と賑わいの創出を図る。

3 施設概要

愛称：栃木市観光交流館「蔵なび」
 所在地：栃木市河合町1番2号
 床面積：208.29㎡
 構造：木造平屋建、鋼板屋根葺
 開館日：令和3年4月20日（火・大安）
 開館時間：午前9時～午後7時
 休館日：12月29日～翌年1月3日
 運営体制：栃木市直営

4 事業内容

(1) 観光案内

- ・栃木市全域を周遊させるための観光モデルルートの提案。
- ・ニーズに合わせたオリジナル観光プランの提案。
- ・広域連携を活用した観光プランの提案。
- ・翻訳機等を活用しインバウンドに対応した観光案内。
- ・レンタル自転車やバス、タクシー等の二次交通情報の充実化。
- ・栃木市散策ガイドアプリ「蔵ミュゼ」、栃木市観光資源データベース「蔵ナビ！」を活用した観光案内。
- ・「おもてなし」体制の構築。

(2) 特産品の展示・販売

- ・鉄道利用者をターゲットとした「お取り寄せ」（宅配）による特産品販売。
 ※いちご、ぶどう、梨、米 等
- ・季節ごとの「旬」な特産品のPR。
- ・特産品販売店及び生産者等との連携によるPR・販売の実施。
- ・館内備品等に特産材（みかも材）を活用したPRの実施。

(3) 観光情報発信

- ・ 季節やイベント等に合わせた特別企画の開催。
- ・ JRや東武鉄道等の鉄道事業者と連携した観光情報の発信。
- ・ メディア等と連携した観光情報の発信。
- ・ SNSを活用したリアルタイムの観光情報の発信。
- ・ 「食」、「体験」、「自然」等のテーマを設定した観光プランの開発。
- ・ 周遊時間、地域に合わせた観光プランの開発。

(4) 多目的交流

- ・ 地域おこし協力隊の活動拠点としての活用。
- ・ 市民団体や市内高校等のサークル活動の発表の場としての活用。
- ・ 観光客向け特産品のワークショップや体験等の開催。
- ・ 市民と観光客のふれあいイベントの開催。
- ・ 栃木駅利用者が電車の待ち時間の調整や待ち合わせ場所として活用できる場の提供。
- ・ 大型モニターでの地元スポーツ団体の試合等のパブリックビューイング。
- ・ ホテル棟、マンション棟と連携した広場の活用。
- ・ 本市関係各課によるシティプロモーション事業の展開。

【問合せ】産業振興部 観光振興課
担当：川村、野尻
Tel：0282-21-2373